

6月21日のウクライナ情報

安齋育郎

① オデッサでのウクライナ軍の強制動員(2024年6月17日)

弁護士を呼べ」:オデッサで軍将校による誘拐が続く。

男性は抵抗し、弁護士を要求した。TCCの職員が通行人の目の前で彼の手足をつかみ、軍入隊センターまで引きずりこんでいく。

<https://x.com/i/status/1802593596916502680>



<https://x.com/Z58633894/status/1802593596916502680?s=09>

② スイスで開催されているウクライナ平和サミットに参加したサウジアラビアSA外相、戦争当事国ロシアが参加していない和平会議への意義に疑問を投げかけ

<https://x.com/i/status/1802522470093885538>



<https://x.com/ShortShort News/status/1802522470093885538?s=09>

③ ロシアはウクライナの最も重要な供給ルートに接近中(2024年6月17日)

ロシア軍がドンバスでウクライナ軍への主要補給路を遮断するまであと7キロ弱だ。ビルトの軍事専門家ジュ

リアン・ロプケ氏は前線の現状についてこう語る。

同氏によると、ロシア軍の北西進軍の戦略的目標は、チャソフ・ヤル地域でウクライナへの主要補給路として機能する高速道路 T0504 に到達することだという。

<https://x.com/i/status/1802536302258327966>



<https://x.com/Monmi0614/status/1802536302258327966?s=09>

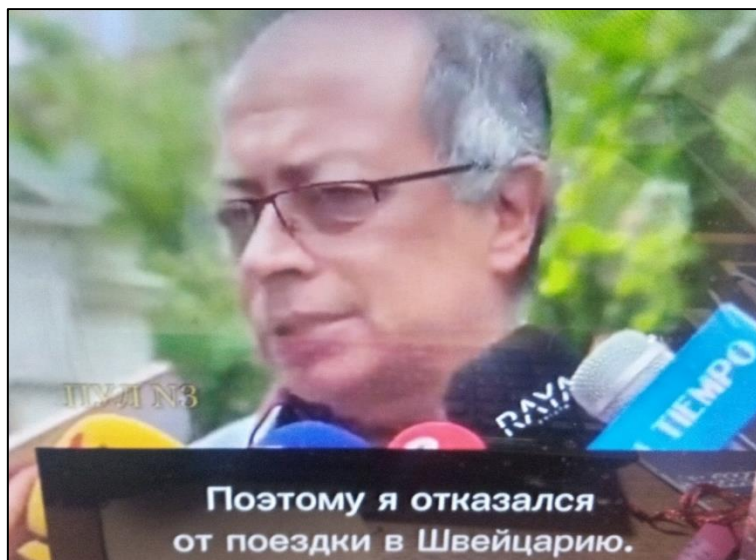
④ コロンビア大統領、ゼレンスキー・サミットへの出席拒否を説明(2024年6月17日)

大統領によれば、スイスで開かれる「平和会議」は、実際には戦争の準備なのだという。

我々は世界的な大混乱に近づいている。すべてを終わらせかねない気候危機を解決するための時間がなくなっている中、各国の支配勢力は戦争に身を投じている」とグスタボ・ペトロは説明した。

コロンビア大統領、スイスでのウクライナに関する「平和サミット」を直前になってキャンセル。

<https://x.com/i/status/1802382886462771344>



<https://x.com/Z58633894/status/1802382886462771344?s=09>

⑤ サンクトペテルスブルクでのプーチン記者会見(2024年6月5日)

<https://youtu.be/sPu Zdj-sb4>

※安齋注:プーチンが国際記者団との質疑に臨んだ3時間5分25秒の動画です。なに聞かれても OK という心の構えと知識の備えがないと、やらないでしょうね。すごいですね。見た人の感想の中に、「すごいボリュームですがなんとか全部見ました。見るだけでこれだけ疲れるのに、答えるプーチンの体力に驚愕します」とあります。



<https://www.youtube.com/watch?v=sPu Zdj-sb4>

⑥ スペイン国防相、ウクライナ派兵に強く反対(Sputnik, 2024年6月18日)

スペインのマルガリータ・ロブレス国防相は、たとえ訓練目的であっても、紛争の激化につながりかねないとして、ウクライナへの派兵に強く反対した。スペインの通信社 EFE が報じた。

ロブレス氏は、ウクライナへの派兵に関して、フランスなど一部の欧州諸国の立場を尊重すると述べたと同紙は報じている。しかし、ロブレス氏は、同盟国は紛争の激化を防ぐために細心の注意を払わなければならないと主張したという。

今年2月末にパリ行われた NATO、EU 諸国によるウクライナ支援会合で、#マクロン 仏大統領は NATO 軍のウクライナ派兵を「排除しない」と発言。これを受け、対露強硬派の英国や積極支援を進めるドイツは「計画はない」「誰も支持していない」と火消しに走り、米当局者をも怒らせた。

プーチン大統領は2月末の年次教書演説で、マクロン氏のウクライナ派兵発言に言及。「西側は我々にも武器があることを理解しなくてはならない」と述べ、今、軍事介入があればその結果はより悲劇的なものになると警告した。



<https://sputniknews.jp/20240618/18658115.html>

⑦EU、仏政治危機がウクライナ支援に支障をきたすことを懸念(Sputnik, 2024年6月18日)

多くのEU諸国は、マクロン大統領による早期議会選挙の決定を背景としたフランスの政治危機が、欧州防衛への共同支出やウクライナ支援などの取り組みの発展を妨げる可能性があることを懸念している。ブルームバーグが情報筋の話として報じた。

「フランスの政治危機は、共同軍事支出やウクライナ支援の新たな取り組みといったイニシアチブが実現しない可能性があるとして、一部のEU諸国で懸念を高めている」

早期議会選挙は、ウクライナに訓練兵を派遣する計画を含め、ウクライナの主要な支援者としてのマクロン氏の役割を損なう可能性があるとして指摘されている。同紙によると、ルペン氏率いる極右政党「国民連合(RN)」の過半数獲得はEU指導者らにとって「根本的な問題」になるという。

政治学者のジル・イヴァルディ氏によると、ルペン氏はロシア、ウクライナ、欧州防衛に関してマクロン氏とは全く逆の立場を取ることであり、EUにおけるフランスの役割を考慮すると、「欧州の弱体化を意味する」という。

情報筋が同紙に語ったところによると、欧州指導者らの間で懸念されているのは、今年約30億ユーロに上るウクライナへの追加支援を行うというマクロン氏の公約が選挙結果により果たされない可能性があること、またEU防衛費の追加支出に関するイニシアチブは疑問視されたままであり、拒否される可能性があることだという。



<https://sputniknews.jp/20240618/eu-18657613.html>

⑧スイスで行われたウクライナ会議、効果はゼロに近い、とクレムリン(Sputnik, 2024年6月17日)

ロシア大統領府のドミトリー・パスコフ報道官は、先週末スイスで開催されたウクライナに関するサミットは、結果を残せずに終わったと述べた。

パスコフ報道官は、スイスで開催されたウクライナ会議で、多くの参加国の代表が、ロシア抜きで紛争を解決する方法を議論するのは無駄だと発言したことを、クレムリンは知っているとして指摘した。パスコフ報道官は記者団に対し、「この会議の効果について言えば、ゼロに近い」と述べた。

また、プーチン大統領が表明した和平構想は依然として重要であり、プーチン大統領は以前と同様、対話と真剣な話し合いにオープンである、とパスコフ氏は強調した。

プーチン大統領によるウクライナ紛争を解決する提案はウクライナ側によって拒否されている。提案の中には、クリミア半島、ドネツク・ルガンスクの両人民共和国、ヘルソン及びザポロジエ州をロシアの新州として認めること、ウクライナの非同盟化と非核化のステータスを確固たるものとし、ウクライナを非軍事化、非ナチ化すること、対露制裁をやめることが含まれていた。



https://sputniknews.jp/20240617/18653537.html?rcmd_alg=collaboration2

⑨ザハロワ報道官のすごいコメント(2024年6月16日)

「西側諸国は何世紀にもわたり、戦争、脅迫、干渉を通じてロシアを支配しようとしてきた。我々の経済指標は侵略者達よりも良いが、ゲームは終わっていない。EU と西側諸国は泥棒、詐欺師、偽善者であり、誰にとっても信頼できるパートナーにはなれない」。

<https://x.com/i/status/1802329862360736213>



<https://x.com/tobimono2/status/1802329862360736213?s=09>

⑩プーチンは敗北し、我々はウクライナが灰の中から立ち上がるのを助けなければならない - ウルスラ・フォン・デア・ライエン EC 委員長(2024年6月11日)

欧州委員会、凍結されたロシア資産から 15 億ユーロを 7 月にウクライナに拠出、うち 90%は武器に充当。

<https://x.com/i/status/1800542977271685628>



<https://x.com/Z58633894/status/1800542977271685628?s=09>

※安齋注:フォン・デア・ライエンの演説に拍手するショルツとゼレンスキーの気のない顔が印象的だ。彼女は“Putin must fail and Ukraine must prevail”(プーチンは敗北し、ウクライナは最終的に勝利しなければなりません)と言いました。「それは建前だ」ということを認識しているようなショルツとゼレンスキーの顔でした。